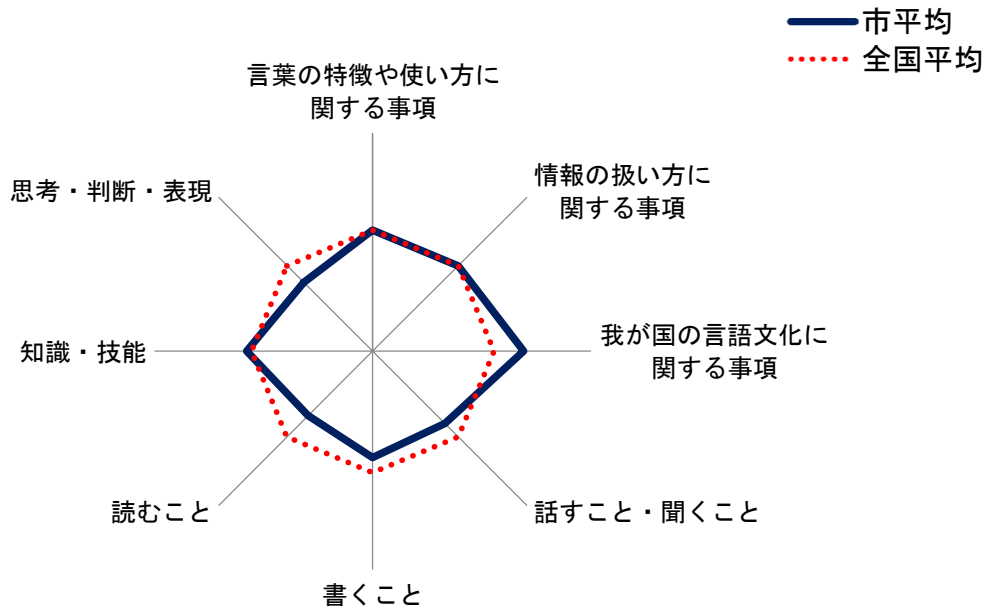
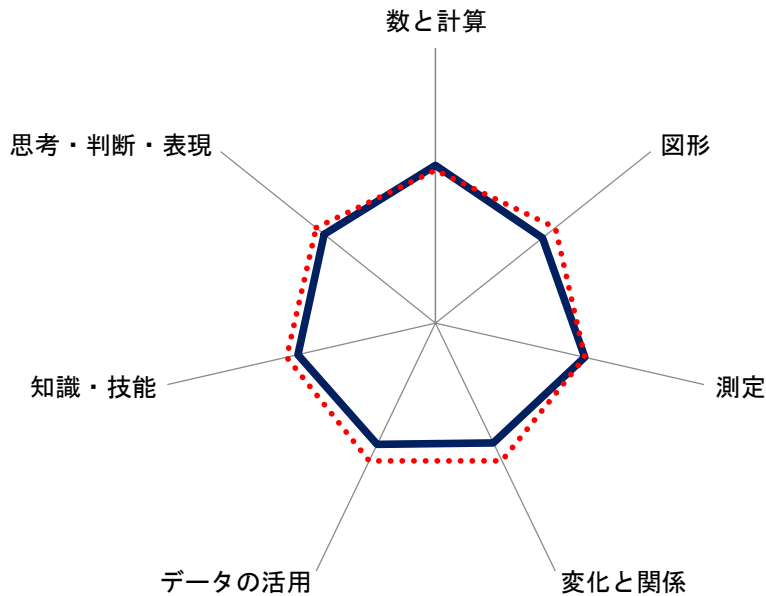


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

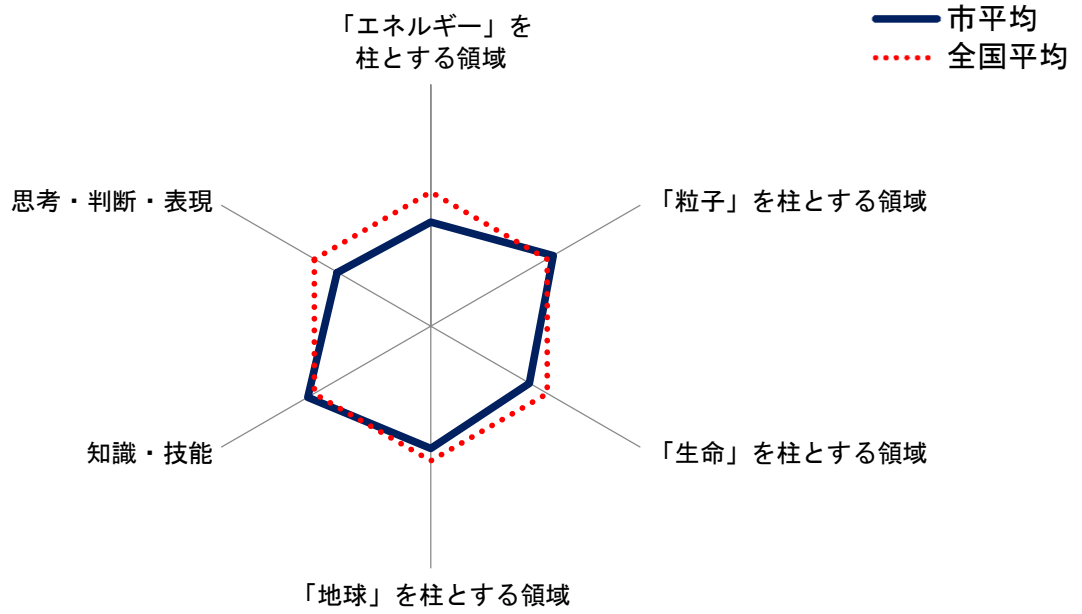


【算数】

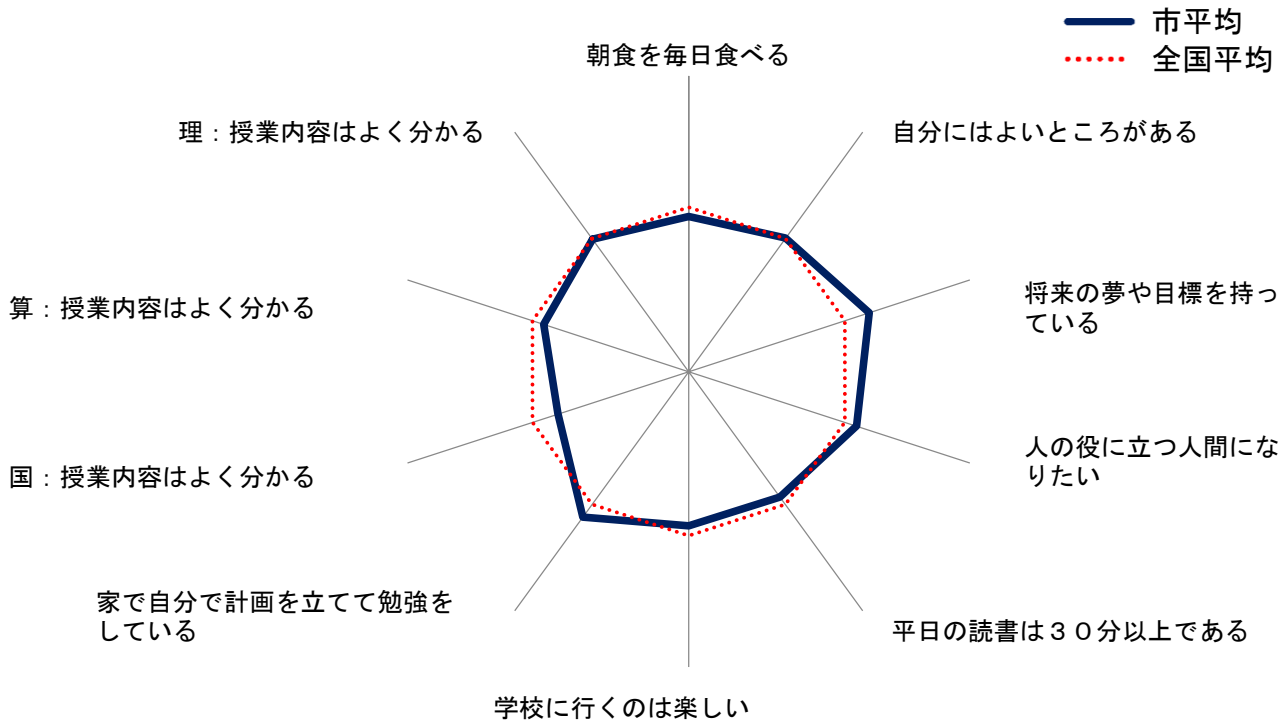


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「我が国の言語文化に関する事項」の項目は、全国平均を大きく上回っているものの、「思考・判断・表現」の項目は、3教科とも全国平均を下回っており、学力の定着と向上に向けて、児童一人一人の課題を分析し、基礎的な知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成が、引き続き望まれる。

児童質問紙調査では、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」「家で自分で計画を立てて勉強をしている」の項目が全国平均を上回っており、自己肯定感や自己有用感を高める教育活動の推進の成果がうかがえる。一方、それ以外の項目は全国平均を下回っており、学力向上の基盤となる基本的な生活習慣や読書習慣の確立、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善をより一層推進することが望まれる。